

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

2001年 11月1日 発行

24 ベルツ草津大会・国際交流
賞受賞記念

発行者 平形義人
発行所 ぐんま日独協会

〒377-0007

渋川市石原966 母心堂 平形眼科方

☎ 0279-22-0149 FAX 0279-24-6867

郵便振替 00520-0-34946



ぐんま日独2001年記念ベルツ草津大会 平成13年5月13日 於 草津道の駅 ベルツ記念館前

■ハイマート24号の主な内容■

	ページ
☆表紙 ドイツ大使夫妻歓迎記念写真	1
☆巻頭言・大会報告	2
☆大会スナップ・会則	3
☆公開講演 黒川剛教授	4
☆ドイツ大使からの謝辞	5
☆ドイツ語・ある体験 角田勤・手紙(森弘子)	6
☆会員便り(井口、澤田、小林)	7
☆トピックス 群馬県国際交流賞受賞	8

事業のお知らせ

- (A) ぐんま日独クリスマス会
2001. 12. 8(土) 13:30~16:30
群馬会館 大理石の間(1F)
大人 3500円 子供 2000円
- (B) 2002年 総会・桜花大会
2002. 3. 14(日)・15(月)
総会 渋川プリオパレス
講演会 子持村雙林寺
懇親会宿泊 ホテル金太夫

R100

題字：平形義人

日独友好親善の実践

ぐんま日独協会会長 平 形 義 人

1999～2000に「ドイツの於ける日本年」(JAPAN IN DEUTSCHLAND)がドイツ各地に於て展開されました。名誉総裁は皇太子殿下とヘルツォーク大統領。実行委員長は樋口広太郎(財)日独協会会長で、事務総長は前オーストリア大使黒川剛教授でした。そのスローガンは『新世紀における日独の新たな出会い』であります。

ぐんま日独協会は去る5月13日～14日にドイツ連邦共和国大使 Dr.Kaestner 御夫妻をお迎えし、公開講演の講師には黒川剛教授をお願いして『2001年記念・ベルツ・草津大会』を催しました。

Erwin Von Bälz 博士と草津との関係は余りにも有名ですが、1878(明治11)草津村に來られ、その温泉と自然環境を高く評価され、自ら夫人花の名を以て7,500坪の土地と温泉を求め、日本の温泉医学の祖となり、世界に草津を紹介されました。

この度草津町は『町制百年』を記念して中心の『湯畑の玉垣』に百人の恩人の名を刻み、1999には道の駅にドイツ風の洋館と『展望高架橋』を建て、2000には『ベルツ記念館』を建て、2001には天狗山ゲレンデの真下に『ベルツ温泉センター』を建てました。既に『ベルツ通り』と命名してあるドライブ道路の道筋の『草津ベルツ協会』を創った中沢晃三ぐんま日独協会顧問の一族の中沢ヴィレージホテルを大会の会場とし、『西の河原のベルツの胸像と碑』の前に献花し、『道の駅』では町民バンドによる国歌の生演奏裡に日独の国旗が掲揚され、通りには日独の小旗が翻りました。

ドイツの諺に Keine Eiche fällt auf einen Streich.(オークの樹は一撃では倒れない→大事業は一挙にはならず)とありますが、この長寿の樹(Eiche)を記念樹としてうえました。これから何百年も生ある限り大木になって、日独交流を見守ってくれると存じます。



2001年記念ベルツ・草津大会記

表紙記念写真をみると、いろんな人々のお顔を同じような思いがわいてきて「2001年記念ベルツ草津大会」を無事終えた安堵の気持とぐんま日独の存在感を示した最高の機会であったと強く感じています。

1. 事前の準備

「八重垣」での理事会から幾度かの役員・理事会を通じてその内容を詳しく知ることになりました。本年4月はじめ、平形会長運転するジャガーを駆って草津町の市川紘一郎町長、山田寅幸議長それにベルツ記念館沖津弘良館長、横山秀夫常任理事も交え協議の結果、町の全面協力が得られることになりました。大使ご夫妻の身辺のことも考え長野原警察署長にも話しました。その後県庁に高山昇副知事、小島トヨ子国際課長にもお会いして、来訪されるドイツ大使に失礼のないようご出席いただくことを諒承していただきました。その他細部の打合わせに草津町通いを何度かしまして5月7日最終確認を行うことになりました。

2. 大会の当日

主賓の駐日ドイツ大使 Dr.Uwe Kaestner と Frau Dagmar Kaestner は前日栃木県から草津入りされて、町の歓迎を受けた後、中沢ヴィレージで寛いでおられました。

11時最初の行事「年次総会」、進行対島良一常任理事、平形義人会長の挨拶にはじまり議長に木暮金太夫副会長、説明役に鈴木克彬事務局長、全議案満場一致で可決されました。

レストランでの昼食をはさんでバスで移動、12時から第2の行事「大使歓迎式」が道の駅で行われました。沖津館長の案内で大使ご夫妻到着、町のおかみ会が和服姿で日独両国旗の小旗の振る中を平形会長先導で立ち台に高山副知事と並び立つと折しもドイツ国歌を草津町民バンド(沖津照夫代表)の皆さんが生演奏で奏でると掲揚塔にへんぼんと翻る日独の両国旗。感激の一瞬です。続いて平形会長が育てたキャンベラオークの植樹です。大使・会長・副知事・町長が並んで一斉に植樹するわきの白い標柱には、Es fällt keine Eiche von einem Streiche(樅の木は一激では倒れない)と記されてあります。終わって全員で記念撮影、続いてベルツ記念館を参観。

14時20分から第3の行事「大会セレモニー」、司会は島田卓爾常任理事、佐藤進一副会長から挨拶があり、平形会長は歓迎の言葉に次いで和服姿の豊泉副会長夫人の手渡し記念品を大使のお手もとに、大使からも贈り物が手渡されるほほ笑ましい風景。ペアーテ・フォン・デア・オステン通訳を入れての大使のお言葉をいただき、副知事、町長、樋口広太郎(財)代理(財)日独協会常任理事織田正雄氏の祝辞が述べられました。来賓紹介で終了。

15時からの公開講演には元オーストリア特命全權大使黒川剛教授の「ドイツにおける日本年を終えて」というユニークなお話がありました。

大使を囲んで皆で街に出て「湯もみ」を見学、「グーテン・ターク」と声がかけられ門々に日独の小旗が歓迎する中を歩いて西の河原公園のベルツ・スクリュバ博士の胸像の前に立ち会長とともに献花をされました。

19時に中沢ヴィレージに戻り「懇親パーティ」が開かれ、司会は当館の中沢敬常務。坂本喜市作詩の山姥呼(日本武尊と弟橘媛命の詠歌)のテープでオープニング、福田朋英理事のバリトン独唱(ピアノ沢田まゆみ)、南ドイツ民族舞踊を鈴木局長夫妻、宝生流仕舞「羽衣」を平形会長がそれぞれが演じて下さり最後は「Muss I Denn」の合唱で閉会でした。

大使ご夫妻を人間トンネルでお送りして、長くて短かった1日を振りかえり、地道にこの会を支えて下さった沢井修子理事他の皆さん、ありがとう。

3. 大会の翌日

9時チャーターバス出発、エキスカッションの行き先は町立音楽の森、白根山、万座温泉、鎌原観音堂、鬼押出し(昼食)、白糸の滝を巡って軽井沢駅で東京の方々と、Auf Wiedersehen!

横川「おぎのや」に立ち寄りて上信から関越高速道に入り、平形会長邸に17時到着。日程のすべてを無事終り爽快感で一杯でした。

(常任理事 島田卓爾記)



草津おかみ会花束贈呈



草津おかみ会もお出迎え（ベルツ記念館前）



日独国旗の掲揚（大使夫妻、高山副知事）



火焰太鼓をたたく大使夫妻（懇親パーティー）



記念品の贈呈（セレモニー会場にて）



エクスカッション（白根山頂、湯釜を望む）

ぐんま日独協会 会則

第一条（名称）

本会は、ぐんま日独協会と称する。

第二条（目的）

本会は、群馬県の因む日独友好親善を図ることを目的とする。

第三条（事業）

本会は前条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

- 1 日独友好親善のための集會等の諸事業
- 2 ドイツ文化紹介のための講演会・研究会等
- 3 群馬県に因む日独交流の認識を深めるための研究活動
- 4 その他、前条の目的を遂行するために必要な事業

第四条（会員）

会則は、本会の目的に賛同する個人会員及び法人会員とする。

第五条（役員）

本会に、次の役員を置く

- | | |
|---------|-----|
| 1 会 長 | 1 名 |
| 2 副 会 長 | 若干名 |
| 3 常任理事 | 若干名 |
| 4 理 事 | 若干名 |
| 5 事務局 長 | 1 名 |
| 6 会 計 | 1 名 |
| 7 会計監査 | 2 名 |

第六条（名誉会長、顧問、参与）

本会には前条の役員のほか、名誉会長、顧問、参与を置くことができる。

第七条（役員の任期）

役員は総会で選出し、任期は2年とする。但し再任又は重任を妨げない。常任理事は理事のうちから会長が任命する。役員に欠員が生じた場合は常任理事会で選任し、その任期は前任者の残任期間とする。

第八条（役員の仕事）

- 1 会長は本会の業務を総理し、本会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 常任理事は、重要業務を処理し、事務局長および会計、会計監査をその中から選任する。
- 4 理事は、本会の業務全般について意見を述べ業務を分担する。
- 5 事務局長は、会長の命を受け事務を処理する。
- 6 会計は、会計事務を行う。
- 7 会計監査は、会計を監査する。

第九条（総会及び会議）

- 1 本会の総会は、会員をもって構成し、毎年1回、会長が召集する。
- 2 総会は、本会の事業計画、役員の選出その他重要事項について審議し、決定する。
- 3 会議は会長が召集し、出席要請のあった役員は出席し意見を述べることが出来る。

第十条（運営費）

本会の運営に必要な経費は、会費および寄付金をもってあてる。

第十一条（会費）

- 1 会員は本会を維持するために、法人会員は年額金10,000円以上、個人会員は年額金3,000円（但し、当該個人会員と同一世帯を構成する家族会員は、1名につき500円とする）を、それぞれ年度ははじめに収めなければならない。
- 2 法人会員は、当該法人に属する個人3名以内を会員名簿に登録することが出来る。

第十二条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年暦年（1月1日～12月31日）とする。

第十三条（事務局）

本会の事務局は、〒377-0007

渋川市石原966母心堂 平形眼科方
TEL 0279-22-0149 FAX 0279-24-6867

附 則

第一条 本会則は平成13年1月1日より施行する。

第二条 本会則は総会出席者の3分の2以上の賛成により改正できる。

「ドイツにおける日本年」を終わって

ドイツにおける日本年 事務総長 黒 川 剛
JAPAN IN DEUTCHLAND (前オーストリー特命権大使)

1996年、当時の橋本首相は日独首脳会談で、わが国を総合的に紹介する「日本年」を開催することを提案し、コール首相の賛意をえました。翌年そのための実行委員会が設立され、日独協会の樋口会長が委員長に就任して、民間への醸金呼びかけを含む準備活動が開始されました。結果を先取りして述べれば、1999年9月から2000年9月までの間にドイツ全土の183の都市で800を超える様々な行事が実施され、「日本年」は所期の目的を達成して成功裡に終了しました。

では所期の目的とは何だったのでしょうか。先ず日独両国の間には一世紀をこえる友好関係があるにもかかわらず、近年相互の関心が低迷していることが挙げられます。冷戦が終わると世界各国の相互依存関係はますます強まってきましたが、人々の関心はむしろ内向きになっている感があります。他方新たな国際情勢の中で世界の文明は変貌をとげつつあり、豊かな文化と伝統をもつ日本とドイツは、それぞれの立場であるいは手を携えてこれに貢献するという共通の課題に直面しています。

このことをドイツの人々と共に若い世代に認識してもらい、日本がドイツにとって色々な分野での良きパートナーであることを示すのが、「日本年」の目的でした。そのため実行委員会では「二十一世紀における日独の新しい出会い」をテーマに掲げ、これに沿った多彩な企画が取り上げられたのです。また「日本年」開催の時期は、壁が崩れてドイツが統一を果たし首都がベルリンに戻ってから十年目のあたるので、新首都を一つの重点として、更に過去五十年日本との関係が必ずしも密接ではなかった旧東独地域にも配慮することとしました。

こうした目的を達成するためには、日本の過去と現実の姿を均衡のとれた形で紹介することが必要です。日独には異なった文化がありますが、歴史の試練をへて生き残ったものは人類共通の遺産であり、そうした遺産は文化の壁を越えてすべての人間が共有できる感動を与えてくれるはずで、他方現在には未来につながるものであり、世界は今や多くの面で似通った生活感覚を分かち合っているとはいえ、その表現の中には民族固有のものが認められるに違いありません。

「日本年」の諸行事は、美術工芸の展示、音楽や演劇の公演、学術文化交流そしてスポーツ等に大別されます。それぞれの分野での主なものをお紹介しましょう。欧州では人形劇といえば子供のための娯楽です。しかし日本の文楽は人形という技術的制約を逆に活かして生身の役者とは異なった精緻な表現ができることを示した高度の芸術であるとして観客に深い感銘をあたえ、心中に赴く男女の姿に涙を流す人も見られ

ました。現代建築の特徴はその国際性にあり、日本の都会には世界のどこに移してもその町の姿に溶け込めそうな建築物が立ち並んでいます。安藤忠雄や黒川紀章の作品展は、表面の無国籍性の背後に意識的にせよ無意識にせよ作者によってたつ伝統が生きていることを納得させるものでした。

言葉の壁は越えられないほど高いのでしょうか。大岡信が主催した「連詩」の試みは、数カ国の詩人の参加のもとに壁を易々と打ち破ってみせました。現代美術展は、表現の方法や手段は異なっても現代という怪物の挑戦に立ち向かう芸術家の心は互いに繋がっていることを教えてくれます。本来人間の魂の平和をもたらしてくれるべき宗教が、各地で紛争の種となっているのは悲しい現実ですが、「宗教と寛容」についてのシンポジウムはその意味で時宜に適したものであり、幾つかの宗教の代表者の参加を加えて活発な議論が展開されました。スポーツにはそもそも国境や文化の壁はありません。ユース・サッカーは青少年達にそれを実感させました。そしてハノーファー万博の機会を利用し日独協会の協力のもとに実施されたホームステイを含む青少年交流も、それに勝る効果を挙げたいといえましょう。

忘れてはならないのは、ドイツ各地の自治体や日独協会が自主的な企画で「日本年」に寄与してくれたことです。ベルツ博士の故郷ビーティッヒハイムでは、市立博物館にベルツ陳列室が開設されました。「日本年」が日独協会の活動の活発化への良い機会になればと念じています。

成功の背後には多数の人々の支援と努力があります。皇太子殿下とラウ連邦大統領閣下が名誉総裁に就任してくださったことは、「日本年」に大きな権威をあたえるものでした。ベルリンでの開幕行事には秋篠宮と妃殿下が御出席になりました。日本の経済界からは厳しい状況にもかかわらず積極的な資金協力をいただきました。外務省、文化庁そして国際交流基金からの助成、ドイツ各地の日本人団体の協力の忘れることはできません。そして何よりも、「日本年」の趣旨に賛同して、行事への参加や我々への声援を通じてこの企画の成功に貢献して下さいました多数の方々へ御礼を申し上げたいと思います。



あなたの「？」が「！」になる

ぐんま日独協会では、ドイツ語・会話(田口久美子・井上 晃)環境問題(鈴木克彬)旅行・観光(木暮金太夫・井上敏子)の3つのジャンルで、最新のドイツの知識や情報・ノウハウの窓口をつくります。一緒にドイツを語りましょう。



Tokyo, den 16. Mai 2001

Sehr geehrte, liebe Frau Prof. Hirokawa,

von meiner Reise nach Kusatsu zurückgekehrt, möchte ich Ihnen, zugleich namens meiner Frau, aufs herzlichste danken für das wunderbare Wochenende, das wir im Kreis der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Gunma in der herrlichen Berglandschaft Japans erleben durften. Wir waren überwältigt von dem herzlichen Empfang und den warmherzigen Begrüßungsworten, die uns zuteil wurden. Wir sind zutiefst beeindruckt vom Engagement, das Sie und Ihre Mitglieder der Pflege der japanisch-deutschen Beziehungen widmen, versinnbildlicht in der Pflege des Andenkens meines großen Landsmannes Erwin von Baelz und der lebendigen Partnerschaft, und insbesondere dem Jugendaustausch, mit seiner Geburtsstadt Bietigheim-Bissingen.

Besonders herzlich möchte ich Ihnen nochmals für die großartigen Geschenke danken, die Sie meiner Frau und mir zugedacht haben: Dazu gehören auch die Tanz- und Gesangsdarbietungen während des Abschlussemphangs, bei denen ich Ihren persönlichen Beitrag nur bewundern konnte!

Meine Bewunderung gilt nicht zuletzt auf der perfekten Organisation der Jahrestagung der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Gunma und den besonderen Ehrungen, die die Stadt Kusatsu, vertreten durch Ihren Bürgermeister, meiner Frau und mir hat angedeihen lassen - sicher aufgrund Ihrer freundlichen Vermittlung.

Ich hoffe sehr, Ihre Gastfreundschaft bald hier in Tokyo erwidern zu können.

Für heute verbleibe ich mit verbindlichen Grüßen und nochmals herzlichsten Dank an Sie, an Ihre Vorstandskollegen und an alle Mitglieder der Deutsch-Japanischen Gesellschaft Gunma.

Uwe Kaestner

公邸にてくつろがれる
大使ご夫妻



(訳 文)

東京、2001年5月16日

ぐんま日独協会会長
平形 義人様

拝啓

この度の草津訪問においては、ぐんま日独協会の皆様とともに日本の美しい山間地にて素晴らしい週末を過ごさせていただき、妻とともに御礼申し上げます。私共は、賜りましたご歓待並びに心温まる歓迎のお言葉に大変感激いたしました。平形様並びに日独協会の皆様による日独関係のためのご尽力に深い感銘を受けた次第であり、このご尽力は、偉大なドイツ人エルヴィン・フォン・ベルツの軌跡の継承及びベルツの生誕地ビーティヒハイム・ビッシンゲンとの青少年交流等活発な提携関係に象徴されております。

また、妻共々見事な贈物を賜り、改めて心より御礼申し上げます。私共にとり、平形様ご自身の舞を鑑賞させていただきました懇親パーティーでの踊りや歌の披露も、素晴らしい贈物となりました。

更に、ぐんま日独協会総会の万全な実施体制並びに草津町長より賜りました草津町のご配慮にも感銘を受けました。これにつきましては、平形様のご仲介をいただいたものと存じております。

近日程に、東京にてご交誼のお返しをさせていただければ幸いに存じます。

取り急ぎご挨拶並びに御礼申し上げ、併せてぐんま日独協会役員並びに会員の皆様にもどうかよろしくお伝えくださいますようお願いいたします。

敬 具

駐日ドイツ連邦共和国大使
Dr. ウーヴェ・ケストナー

(署 名)

Dr. Uwe Kaestner 大使 ブラジル大使に転任

Dr. Uwe Kaestner 大使は10月ブラジル大使に転任されます。

日本に着任された時、陛下に信任状を奉呈された時、「日本は東京のみではない、地方もよくご覧下さい」と仰られたと繰返し述べられ、群馬県には草津まで公用車で来て下さったのです。10月3日の統合記念日がお別れの日となりました。(平形)

Auf Wiedersehen!



ドイツ語会話 Sprachkurs

「ある体験」 角 田 勤

今春、某有名音楽高校を卒業したA君から、ドイツ留学へ旅立つ間際に次のようなEメールが送られてきた。

「明朝3時にいよいよドイツへ旅立ちます。色々お世話になりありがとうございました。これからの生活で、先生に教えていただいたたくさんのお話を無駄にせず、精一杯頑張り抜いていこうと思っています。(中略) 南郷の小さな子ども達や人々のことは一生忘れられません。『多くの子ども達に夢や希望を与えることが出来るならどんなにか素晴らしいだろう。』と、僕は南郷小学校の演奏で強く感じました。では、行って参ります。 3月28日 21時24分」

私とA君との出会いは、現在群馬交響楽団で活躍しているA君の父君を介してのことである。沼田の「きり絵美術館」でコンサートが開かれたとき、親子で参加して下さり、とても気持ちの良い青年だと印象を持っていた。そのA君が、高校卒業後ドイツに留学することになり、父君から、「是非倅にドイツ語を教えてあげて下さい。」と懇願されて、引き受ける羽目になってしまったのである。それも電話による講義?というごく珍しい形だ。

ところで、私事で恐縮だが、私がドイツ語を習ったのは旧制高校の3年間だけで、それも50年以上も前のことである。かなりみっちり仕込まれたが、それは将来の職業に直結する医学書や文献を読む準備のためのもので、訳読ばかりのちっとも楽しくない授業であった。そして、私が大学を出て医局勤めになった頃、医学界はドイツ語よりも英語が多く使われるようになり、私もドイツ語との縁が薄れていった。

ところが、開業して10年目、昭和38年春のことである。ドイツを旅行する機会に恵まれたが、私のドイツ語は全く使い物にならなかった。ほとんど会話が出来ず、コミュニケーションはゼロである。こんな哀れな経験をA君には味わせたくない。そこで、早速本屋さんに行き、教材としてどんなものがよいかあれこれあたってみた。とにかく、すぐに使えるドイツ語でなければならない。結局、コミュニケーションに必要なフレーズを出来るだけ沢山覚えてもらおうと考えた。ネイティブスピーカーが吹き込んだCDなどの反復練習、それに私の文法、作文を加えていき、ファクスやメールも活用してレッスンを始めたのである。

私とA君との戦争が始まったのは、昨年12月26日から。毎日大体1時間位、時には1時間半にも及ぶ事もあった。正月も、土曜・日曜も、A君はほとんど毎晩電話してきた。私はその熱心さと早い上達に驚嘆した。2ヶ月もすると、教える私の方が予習に忙しい程になり、いつもドイツ語で頭が一杯になった。でも、気が付くと、苦痛のはずの電話が、逆に待ち遠しくなったのも事実である。それは、A君の熱意の他にこんな優しさがあったからだ。ある時、私が待ちきれずに、こちらから電話をかけると、「こちらからかけ直しますので、ちょっと失礼します。」と言って電話を切るが、ものの数秒もたたないうちにA君から電話がかけ直されてくるのである。教えてもらうのに先生に迷惑はかけられないという配慮だったのだろう。

私が教えることの出来るドイツ語は、ごく初歩的なものであり、いわば「旅行会話」「社交会話」の範囲のものである。とてもコミュニケーションのための会話には及びもつかない。しかし、A君には更にドイツ語を勉強し、コミュニケーションの道具として使いこなしていただきたい。そして、なにより本物の音楽の上達と豊かな感性を育んでいただきたいと私は切に願っている。

電話でのドイツ語の勉強に区切りがついた3月26日、A君の高校卒業と、ドイツへの旅立ちを記念して、利根の僻地、南郷小学校の卒業式の日に、A君親子のミニコンサートを開催した。小学校を卒業していく二人の卒業生にとっても良い思

い出となったことだろう。

そして、それ以上に嬉しかったことは、夢に向かって頑張ろうとしている素晴らしい若者の旅立ちに会えたことである。
(ぐんま日独副会長 沼田ドイツ語会長)

東京便り 森 弘子 5月18日 2001

平形先生

前略 5月も中旬、緑。日毎に濃く。日中は夏の暑さにもなります。楽しみにしておりました“2001ぐんま日独協会草津大会”も成功のうちに幕を下し、けたたましく過ぎて行った2日間を想い出します。此の度はすっかりお世話になり誠に有難うございました。大使夫妻もずい分と喜んでおられました。2日目の軽井沢でバスを下車、東京組一行でCafeに寄りコーヒーなどみんなで味いながら、2日間の充実した会の終りをやりました。ベルツ君も最後まで一緒に過し、満足だと伝えてました……(後略)

ハイマート特電 平形 義人(会長)

2001.9.11. N.Y.の世界貿易センターとU. S. A. 軍事中樞ペンタゴンが“同時多発テロ”の急襲に遭い、地球は国境なきテロ戦争に捲きこまれた。恰もこの時、対馬良一副会長は、栃木県日独会長橋本孝教授(日本グリム協合理事長)と共にエンゲルベルト・ケンパー生誕350年記念親独旅行中のところ、予定の津軽三味線公演を三ヶ所で緊急中止、やっと開演の時もテロ犠牲者に黙祷を捧げ、国際事件の対応が迅速に実行された由。日本は第二次大戦で多くの戦死者、犠牲者を出し、領土を失い、原爆を受け、シベリヤの強制労働、多くが戦犯の処刑を受け、戦後50年今日尚も敗戦国の汚名は消えていない。唯一つ得たものは「戦争廃棄・平和の誓い」である。1987、皇太子殿下ご臨幸にて、首相中曽根康弘の肝煎りで、ベルリンに日独センターが出来、甲斐文比古(元ドイツ大使)日独協会理事が初代総裁となった。1988には全国連合日独協会が結成され、花王(K.K.)の丸田芳郎初代連合会長は、哲学者金治勇に依頼して「昭和天皇のご仁徳」(日、独、仏、西)を著し(1989)、平和天皇の淵源は、聖徳太子の17ヶ条憲法に明なりと世界に訴えられた。同議長は奈良大安寺住職・日独文化友の会々長河野清晃師は既に第三高等学校在学中に17ヶ条憲法(604)を独訳し、アデナウワー首相は教育勅語を座右の銘とされたことは有名な逸話である。終戦時78歳の鈴木貫太郎首相(群馬県富士見村、旧制前橋中学出身。1936.2.26. 事件の時侍従長として重傷を受く)はボツダム宣言を受けるに際し、平和日本の伝統を守るために、国体護持を貫いた(1945)。ドイツは万里の長城より堅固と見られたベルリンの壁 Mauerを一発の銃声もなしに片付け、東西統合をなし遂げた(1990)。一刻も早く「対テロ戦」を睿智を以て解決し、人類の楽園を謳歌したい。

和を以て貴しとなす(聖徳太子)

驕はすなはち悪中の極(維摩経義疏)

堪へ難キヲ堪へ忍ヒ難キヲ忍ビ(終戦詔勅)

手をつなぎ輪を広げよう(群馬国際交流標語)

近刊紹介

- (1)「ベルツ日本再訪」：エルヴィン・V・ベルツ著
草津・ピーティツヒハイム遺稿 若林操子監修
池上弘子訳 日記篇(742頁) 2000.9.20. 発行、
東海大学出版会 Tel03-5478-0891、
中沢晃三氏蔵 ベルツ博士遺稿出版委員会。
「續篇」と共にぐんま日独必携の書。
- (2)「大真面目に休む国ドイツ」平凡社新書
福田直子著、上智大学卒、ドイツ留学。
現在ドイツジャーナリスト連盟(DJV)加盟。
内容・パカンス先進国のドイツの理想と現実
¥680(税別)

会員便り



「あるドイツ青年との交流」

井口リウ子

ゲルノ・シュミットからの手紙

Liebe Frau Iguchi und lieber Herr Iguchi,

es hat mich sehr gefreut wieder von Ihnen einen Brief bekommen zu haben. Ich bin froh, dass es Ihnen gut geht. Auch wenn wir uns lange Zeit nicht geschrieben haben, so habe ich oft an Sie und meine Reise nach Kusatsu vor nun sechs Jahren gedacht.

Nach meinem Abitur im Juni 1999 (meine Leistungsfächer waren Musik und Englisch) habe ich unmittelbar meinen Zivildienst angetreten. (Junge Männer in Deutschland müssen entweder 10 Monate zur Bundeswehr oder 12 Monate Zivildienst leisten, ich hatte mich für letzteres entschieden.) Nach dieser Zeit, also im Frühsommer 2000 unternahm ich einen sechs-wöchigen Urlaub in die USA. Meine Reise begann in San Francisco und führte mich zwei Wochen mit einer Jugendreisegruppe durch Kalifornien, nach Los Angeles, zum Grand Canyon und nach Las Vegas. Anschließend verbrachte ich zwei Wochen bei Freunden in Kansas City und zwei weitere Wochen bei Freunden in Chicago. (Kennengelernt habe ich meine Freunde dort durch die zahlreichen Jugendorchestrieren unserer Musikschule.)

Seit Ende August letzten Jahres mache ich nun eine Bankausbildung in Stuttgart. Ich wohne weiterhin zu Hause und werde erst im Herbst 2002 nach Abschluß meiner Ausbildung anfangen zu studieren. Ich werde wohl ein Wirtschaftsstudium antreten und mir die Musik als Hobby bewahren.

Ich würde mich sehr freuen wenn Sie bei Ihrer nächsten Europareise einen Stopp in Bietigheim-Bissingen einlegen würden.

Mit herzlichen Grüßen

Gernot Schmitt

親愛なる井口ご夫妻へ

皆様からの手紙、本当に嬉しかったです。皆様、お元気のように安心致しました。文通が途切れていた間にも皆様の事や、すでに六年も経った草津への旅の事をよく思い出していました。

1999年6月の、アビトゥア（ドイツでの高校卒業及び大学入試・僕の試験科目は音楽と英語）の後、非軍事的役務（徴兵制度に従わない場合の選択・ドイツの若者に徴兵に10ヶ月つか、この非軍事的役務に12ヶ月つかなければなりません）についていました。このあと2000年の初夏に6週間程アメリカで休暇をとりました。僕の旅は、サンフランシスコに始まり、2週間程の青少年の旅のグループに参加し、カリフォルニア、ロサンゼルス、グランドキャニオン、そしてラスベガスへ。その後は2週間はロサンゼルス市の友人宅で過ごし、また次の2週間はシカゴの友人宅で過ごしました。（これらの友達は、音楽学校の青少年オーケストラのコンサートツアーの時に知り合った人達です。）

昨年度8月の終わりに、シュトゥットガルト市の銀行で銀行員の教育を受けています。まだ両親と一緒に住んでおりますが、2003年の秋に銀行での教育期間が終了しますので、その後は、また学業の方に戻るつもりです。

僕は大学で経済を専攻し、音楽は、自分の趣味におさめる事にしたいと思っています。

お二人の次のヨーロッパ旅行の際には、是非ともビーティクハイムにお寄りください。心よりご招待申し上げます。

それでは、お元気で、お体をご自愛ください。

ゲルノ・シュミット

シュミットへの返信

ゲルノ様

なつかしいお手紙を有難うございました。ドイツにいる孫のような気持ちで、うれしく御手紙を拝見いたしました。

先ず12ヶ月の非軍事的役務についていらしたとのこと、日本の青年達には考えられないことです。

この間の新聞で日本の幾つかの病院・介護施設で、ドイツからの青年を受け入れたとの記事を見ましたが、ゲルノ君も、もうその年齢になられたのかと、月日の経つ速さに驚いています。

その後、アメリカの西海岸から、方々を回られ、楽しい6週間を過ごされた由、よろしゅうございましたね。私達の次女は1987年に、サンフランシスコ近くのサンアンセルモで結婚式をした後、北方のシャトル近く、ポートタウンセントにずっと住んでおります。美しい海岸の町です。

同封の絵はがきは、只今私共の住んでおります安中市出身の新島襄先生の両親の家です。木造・茅葺屋根の、昔のままに保存された日本の士族の長屋です。

今度ゲルノ君が、日本(安中)に、いらしたら是非ご案内したいと思っています。彼、新島襄は、1864年、鎮国政策をとっていた日本を脱国し、アメリカに渡り、勉強してアメリカンボードの宣教師として、10年後に日本へ帰国してから、京都に同志社大学をつくった人です。

井口(夫)は、2000年3月に幼稚園の園長を辞任してから、「安中とキリスト教」について、「安中市史」の一部を書いております。只今は新島襄について書いてるところです。

ゲルノ君、どうぞお元気で、銀行での教育期間を全うされ、大学にもどられたら経済学専攻を益々学問的に深められますよう御祈りしております。ご両親様によろしく。

お会いできる日を楽しみにしております。

井口リウ子

リューベック留学抄〜笛と墨

澤田まゆみ

97年から3年間学んだリューベック音楽大学。美しい中世の街並みと最高の教授陣。得たものは計り知れないが、作曲家 F.Doehl 教授はいつも「大勢の日本人がヨーロッパに来るが、自身のものを何も持ってこない」と嘆いていた。「西洋」音楽を学びに来ている私にとっては今ひとつピンとこない話だった。一方彼は俳句の韻律を生かした曲を書き、家には「書」を飾り、日本で琴古流尺八を学んだパーゼル音楽院講師 A.Gutzwiller さんを招いて、尺八の楽器構造・奏法の特別講義とベトリ教会での演奏会を開いた。そこへ訪れる私。一体何なのだろう。あるコンサートで武満徹のピアノ曲や、何か日本のものを！と突如懇願されて母校高女校歌を演奏した。日本人としての使命と責任の重さを痛感した瞬間だ。私は今、日本で、龍笛と、10年ぶりに書道を始めた。逆留学中である。（草津大会でピアノを担当）

俳句

初秋みちのく

高崎市

小林和男

観衆も跳ね人となりしねぶたかな

青森

紅花を胸に踊りの輪にはいる

山形

芒野に謡曲の里在りにけり

安達ヶ原

岩陰に揺れるる薄や日本海

黄金崎

蛸の深々鳴きし秋田杉

白神山麓

山荘の夜明け告ぐるや時鳥

白神山麓

トピックス

ぐんま日独協会 2001年群馬県国際交流賞を受賞

受賞を伝える地元上毛新聞

(財)日独協会樋口廣太郎会長からの祝辞

**4団体に県国際交流賞
7日に県庁で表彰式**

県は一日、本年度の県国際交流賞の受賞者を決めた。今年度の受賞者はN.T.T労働組合県支部(坂田努委員長)、東日本電信電話群馬支店(中村正敏支店長)と県国際交流青年協議会(吉野藤彦会長)の4団体。表彰式は七日、県庁第一庁舎で開かれ、N.T.Tの二団体は連年の受賞。労働一体となつて中国・インドネシア、欧州などから延べ百九十人の研修生を受け入れてきた日独協会は日独友好の架け橋として、ベルツ博士生誕百五十周年記念事業やブルーノ・タウト生誕百二十年記念事業などを行っている。受賞は一九九六年度に設けられ、昨年度までの受賞者は七団体、四個人。

全県日独協会連合会会長
財団法人 日独協会会長
樋口廣太郎

ぐんま日独協会
会長 平形 義人 様

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたびは、第6回群馬県国際交流賞を受賞されること心からお慶び申し上げます。
貴協会の所在する群馬県は、エルヴィン・フォン・ベルツ博士、ブルーノ・タウトが居住した非常にドイツとの縁のある土地です。その良き伝統を保持しつつ、将来の日独関係に向けて活発に活動されている貴協会は、實にふさわしい団体と確信しております。
今後ドイツ・日独協会との連携を深められ、日独交流を促進されることをお祈りいたします。
敬具



表彰状と記念品
(安中市自性寺焼)

表彰式風景
(2001年10月7日
群馬県庁前広場にて)



ぐんま日独新入会員

名 前	住 所	電 話
富田 順司	370-0852 高崎市巾着町1-7-5	027-353-8575
澤田まゆみ	370-3102 群馬郡箕郷町生原658-12	027-371-5854
窪 由美子	370-1103 佐波郡玉村町樋越918	0270-65-5622
青木 澄子	320-0853 高崎市上佐野町1096-1 F-3705	027-324-5346
福田 幸子	375-0023 藤岡市本郷698-11	027-422-1168

【新会員募集中】

希望者は下記へご連絡下さい。
〒377-0007 渋川市石原966 母心堂 平形眼科方
TEL 0279-22-0149
FAX 0279-24-6867

追悼

児玉 貴 高崎商工会議所会頭 は
去る8月14日御逝去。

ぐんま日独協会に率先御入会、多年に亘り法人会を御指導、御後援頂きました。高崎にドイツ大使や公使をお迎えする時、いつもよい話相手をして下さいました。御冥福を祈ります。

◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただくことがあります。(800字以内)